# 令和8年度　総合的な学習の時間全体計画　　江戸川区立二之江中学校

校長名　千野　裕司

名称：総合的な学習の時間

| 学校の教育目標 | 「いま」「ここ」で頑張る生徒を育てる。<br>・健康で心豊かな人　　・自ら学び実行する人　　・協力し合い責任を持つ人 |
|---|---|

## 国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1） 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
（2） 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
（3） 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

## 学校の総合的な学習の時間の目標

1　学び方やものの考え方の基本を身につけ、学習に取り組む姿勢を育成する。
2　自ら課題を見出し、探求心をもって主体的、創造的に取り組む力を育む。
3　人としての生き方を考える場として、目標を持って自らの進路を切り開くための力を育てる。

## 育てようとする資質や能力及び態度

| 知識及び技能 | | |
|---|---|---|
| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| それぞれには特徴があり、多種多様に存在している（多様性） | 互いに関わりながら、よさを生かしている（相互性） | 物事には終わりがあり限りがある（有限性） |
| **思考力、判断力、表現力等** | | |
| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する | 課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える | 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に活かそうとする |
| **学びに向かう力、人間性等** | | |
| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| 自己の将来を考え、夢や希望をもつ | 自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践する | 目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する |

| 内　容 | 学習対象 | 学習事項 |
|---|---|---|
| 第1学年 | ・自分を知る<br>・身近な環境（江戸川区）を考える<br>・身近な職業調べ、職業講話、職場訪問<br>・ビブリオバトル | ・自己理解と自分の将来に関心を持つ<br>・地域の伝統や文化の理解<br>・働くことに関心を持つ<br>・読書への関心を高める |
| 第2学年 | ・自然環境と農業体験<br>・自己の生き方を考えた職場体験<br>・企業と提携した商品開発と販売から学ぶ<br>・上級学校調べ | ・自然のすばらしさと大切さ<br>・働くことの意義と将来の目標<br>・自己の目指す上級学校<br>・言語文化に親しみ、言葉の感覚を磨く |
| 第3学年 | ・日本の文化と歴史の探求<br>・地域の中の自分を考える<br>・各自の進路へ向けた活動<br>・論文の書き方、論評やプレゼンの仕方 | ・伝統や文化の持つ特徴とその歴史的背景<br>・福祉やボランティア体験<br>・基礎学力の充実と適正な進路選択<br>・論理的な思考力、判断力、表現力等を高める |

| 学習活動 | 指導方法 | 指導体制 | 学習の評価 |
|---|---|---|---|
| ・1学年は「自己を知る」、2学年は「自己を活かす」、3学年は「自己を伸ばす」を学年テーマとする。<br>・自然体験や社会体験を通して自己の生き方を追求していく。<br>・持続可能な開発のための教育(ESD)をする。 | ・問題解決や探求活動に取り組ませる。<br>・体験的な活動を重視する。<br>・地域のゲストティーチャーによる講義を行う。 | ・校内の全体指導体制の確立と学年間の連絡調整を充実させる。<br>・地域人材を活用する。. | ・評価の観点及び評価規準を設定する。<br>・評価資料の充実を図る。 |